九十九里・南房総事業体、県水道「統合協議会」

全調整項目を承認

26年4月実現目指す

九十九里地域・南房総地域の水道用水供給事業体と県営水道の統合協議会の第10回が、12日に県庁本庁舎5階特別会議室を本部としてウェブ会議形式で開かれた。統合基本計画案と統合基本協定素案を提示したほか、全調整項目119項目のうち残る4項目について承認を受けた。今後は、12月下旬の第11回で統合基本計画を決議し、2025年1月中旬の統合基本協定締結を経て、26年3月31日に九十九里地域水道企業団と南房総広域水道企業団を解散。同年4月1日に統合を実現する運び。

統合基本協定の締結者は、県、県企業局、九十九里地域13市町村、南房総地域8市町、九十九里地域水道企業団、南房総広域水道企業団。

統合基本協定では、県企業局が水道事業、工業用水道事業、造成土地管理事業に加え、九十九里地域と南房総地域の水道用水供給事業が事業統合した水道用水供給事業を経営することを定め、▽統合基本計画の内容▽職員の勤務条件など▽資産などの整理▽水道用水供給料金体系▽財政措置▽市町村水道総合対策事業補助制度の適用――を合意事項とする。

統合基本計画の期間は、26年度から45年度までの20年間。統合基本計画には、施設整備計画や財政収支計画を含む。

人口減少が進み有収水量が減少していく見通しの中、施設の更新などを行っていく必要があるものの、技術職員の確保も難しい現状では、既存の事業体単独で適切に対応することは困難。そこで、統合により水道用水供給事業に係る経営基盤を強化して適切に対応し、財政措置を活用して料金上昇を抑制しながら、将来にわたって地域への安定給水を維持していくこととする。

また、施設整備計画は、老朽化が進み、または耐震性に欠ける施設・設備について計画的な更新を図るもの。統合から20年間の総事業費は約765億円（前半約413億円、後半約352億円）。

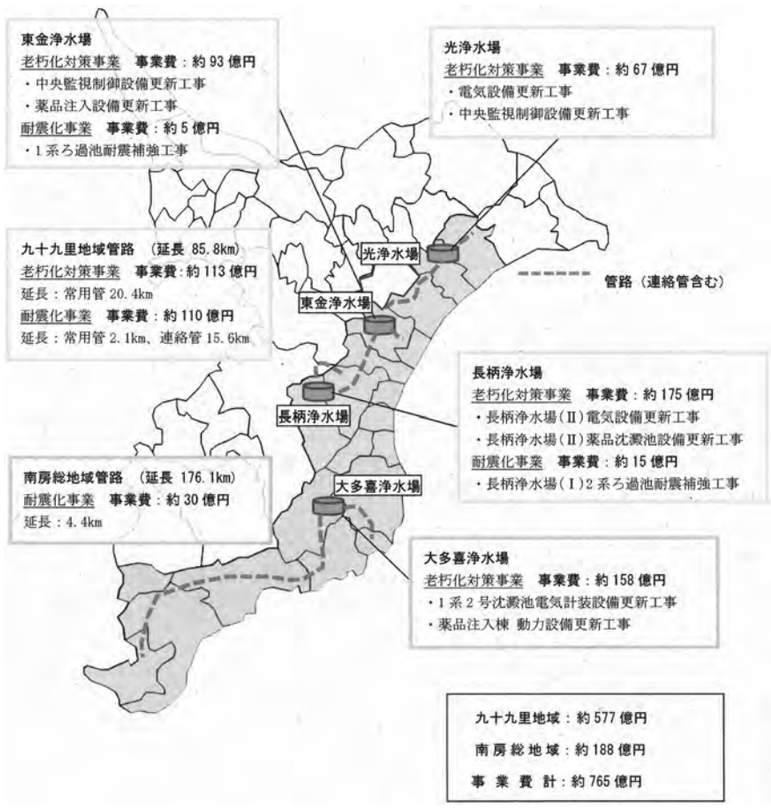
財政収支計画においては、九十九里地域と南房総地域の供給単価に差がある現状を踏まえ、統合後10年間にわたって地域別に区分して経理を行った上で11年目に統一するほか、全ての末端給水事業体が統合による水道用水供給料金の上昇抑制効果を享受できるよう、統合後10年間は末端給水事業体事ごとに基本料金を調整することとした。

統合に伴う財政措置として、国の防災・安全交付金（広域化事業）を活用。県は、統合後の水道用水供給事業の経営安定化のため、統合後10年間は水道用水供給事業会計に対し、一般会計繰出金を定額（市町村水道総合対策事業補助金振替分約17・6億円／年、県追加負担分2・3億円／年）で負担。市町村は、用水供給料金を引き下げるため、統合後10年間は水道用水供給事業会計に対して年2・3億円を支出する。

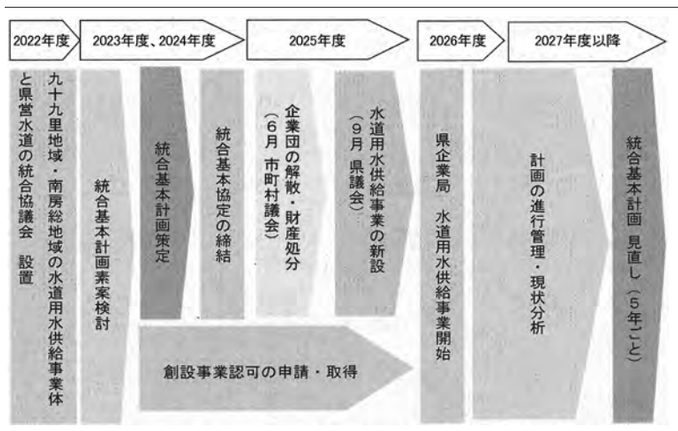
会長の熊谷俊人知事は冒頭、「本日は、残る事務事業の調整方針に加え、これまでに承認いただいた内容などを取りまとめた統合基本計画の案や、統合に関わる重要な事項を確約する統合基本協定の素案について協議いただく」と説明。また、「統合の協議は大詰めを迎えた」との見方を示し、引き続き中長期的な視点での理解と判断を求めた。

今回、承認された調整項目は▽職員の給料の取り扱い▽初任給・昇格・級別標準職務基準の取り扱い▽職員の手当（通勤、特殊勤務、時間外、その他）の取り扱い▽各種協議会などの取り扱い。

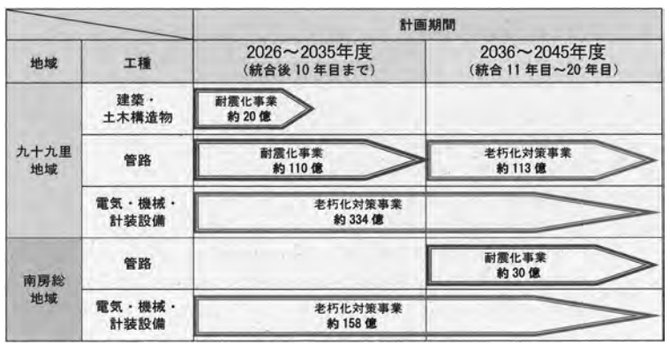
統合協議会であいさつする熊谷知事



施設整備計画における浄水場別の主な事業および管路事業



統合基本計画案に示されたスケジュール



施設整備計画に示された事業スケジュール

県土整備部と意見交換

県空衛協の要望事項

〈1面参照〉

【直接発注（分離発注）推進について】

○千葉県発注工事においては原則、直接（分離）発注方式を採用しており感謝申し上げる。今後も、品質の確保と適正価格での施工ができるよう「分離発注」を要望する。設備専門の技術を有する企業が、発注者のニーズに直接応えることにより、高品質の設備を提供し、顧客満足度を高めるとともに、関係各所への迅速な対応やコスト増大防止に寄与することができる。

【入札・契約制度、総合評価について】

○入札時の質疑の締切が、入札参加資格提出とほぼ同時期のため、図面内容確認がほとんどできない状態にある。図面精査と現場確認ができた状況で質疑を作成したいため、期間の延長を要望する。

○入札時の施工計画策定に関して、課題内容がシンプルで少々意図を汲みづらい。課題について策定背景等の説明があれば、具体的な提示に繋がる。

【設計・積算について】

○働き方改革により一人当たりの労働時間の削減が必要となる中で、一現場に携わる人数増加分を経費等で加味して頂くよう要望する。

○機器周りの2次側電源工事において、設計図で本工事に含むと、文章化されているが図化されていないことや、数量内訳にも項目記載がないため積算対応ができず、施工会社の負担となるケースがあった。本工事に含むのなら、図化や数量内訳の提示をお願いしたい。

○全面改修工事において、撤去図はPDFとなっているが天井解体着手後に躯体が図面と違ったり、撤去図にないダクト・配管などが判明した。コストにも大きく関わるので、設計段階での調査不足をなくして頂きたい。天井解体後の調査や設計見直し期間を、あらかじめ設定する必要があると考える。

○積算と設計図に相違がみられるケースがある。対応に時間を割かねばならないため、出件前に確認を願いたい。改修工事の設計内訳書について、数量が一式になっている項目（土工事・撤去工事・はつり補修工事・穴あけ貫通補修等）は「別紙明細」が公開されていないため、公開して頂きたい。

○GHP（ガス・ヒートポンプエアコン）導入などにより、専門工事の外注費が、人手不足もあり高騰している。長期間工事の場合は、機器の現場納入時期が相当先になり、工事原価高騰の先読みが必要で、利益の圧迫に繋がる。物価スライドの対応を実勢価格に近くし、速やかに行って頂きたい。

【発注時期の平準化について】

○フレックス工期の設定など、年間の発注時期を平準化することを、引き続きお願いしたい。第4四半期に工事が集中しないよう、分散した発注をお願いする。発注時期を平準化することにより、閑散期がなくなることを希望する。

【DXなどの利用による工事書類の簡素化について】

○DXによって工事・記録写真等をペーパーレスで対応させて頂き効果的だった。今後も継続を要望する。近隣向けに設置する屋外のデジタルサイネージについても実施し、更新の手間が省けて効果的だった。ただし、設営にはイニシャルコストがかかるため、標準化した対応の場合は、設計図に記載して頂きたい。

【施工時の質疑応答の迅速化について】

○現場作業所での質疑回答の多くは、設計図に関する事項である。設計図の精度に関する事項は、様々な理由で回答が出しづらいと思うが、担当者の判断での結論などで迅速に対応して頂きたい。

【その他諸課題について】

○工事関連の提出用書式について、旧書式の誤使用と記載事項の欠落を防止するため、着手時に最新フォーマットの説明を希望する。

○工事完成検査を受けるにあたり、現場事務所も含めた仮設物を撤去しないと検査を受けられない事象があるが、現場の事務所は残して頂きたい。もし不可ならば、現場事務所のみを別契約とするなどでお願いしたい。

【意見交換会出席者】

〈（一社）千葉県空調衛生工事業協会〉

▽金子達也・会長（大和設備工業㈱）▽板橋勇一・副会長（東洋熱工業㈱）▽小原　智・副会長（不二公業㈱）▽池田　潔・理事（池田建設工業㈱）▽岩井　健・理事（㈱サクラ設備）▽小島直樹・理事（三建設備工業㈱）▽鮫島功一・理事（千葉アロー㈱）▽山下裕一・理事（芝工業㈱）▽山田　功・理事（新和設備㈱）▽長谷川哲由・常務理事（（一社）千葉県空調衛生工事業協会）▽足立麻紀・事務局（同）

〈県県土整備部〉

▽麻生宗明・次長▽大塚生一・技術管理課長▽佐野成寿・同副課長▽高橋俊浩・建設・不動産業課長▽鈴木智久・同副課長▽白壁慶積・営繕課長▽安元　勉・同副技監▽鵜澤鶴之介・施設改修課長▽小深山浩通・同副課長▽泉水克裕・都市整備局住宅課副課長▽上野　暁・建設・不動産業課副主幹（随行）▽田中　健・同主査（同）▽鎌田修平・住宅課県営住宅設備班長（同）

イオンリテール

施工者は池田工建

美浜区に複合施設4棟

イオンリテール㈱（千葉市美浜区中瀬1―5―1）は千葉市美浜区若葉3―2―7ほかに、S造平屋建て、床面積2646・92㎡の飲食店を主とした複合施設「（仮称）幕張ベイパーク2期A～D棟」を新築する。施工者は、池田工建㈱（千葉市若葉区源町109）。A棟とB棟はこのほど着工し、年度内の完成を予定。C棟とD棟については、早ければ12月に着工し、2025年8月30日の完成を目指す。

A棟とB棟の建設地はイオンスタイル幕張ベイパークビレッジ3の西側

C棟とD棟の建設地はイオンスタイル幕張ベイパークビレッジ4の西側

両敷地の間に千葉市道若葉6号線が通る

A棟とB棟の建設地は、イオンスタイル幕張ベイパークビレッジ3西側の敷地面積3192・15㎡。C棟とD棟の建設地は、同ビレッジ4西側の敷地面積2908・57㎡。

両敷地の間に千葉市道若葉6号線が通っている。また、西側には同じび野幕張町線が接している。

建物の予定規模は▽A棟＝建築面積234・25㎡、床面積2322㎡、高さ8・265m▽B棟＝建築面積405㎡、床面積400・5㎡、高さ7・6m▽C棟＝建築面積283・9㎡、床面積281・65㎡、高さ8・265m▽D棟＝建築面積869・26㎡、床面積1732・77㎡、高さ9・9m。A棟とD棟の間に48台、C棟とD棟の間に19台の平面駐車場を設ける計画。

なお、隣接するイオンスタイル幕張ベイパークビレッジ1～4（千葉市美浜区若葉3―2―16）は、20年4月13日に開業した。敷地面積は約1万5300㎡。建物はビレッジ1・3・4がS造平屋建て、ビレッジ2がS造2階建てで、延べ床面積は6049・44㎡。

日建設計の基本設計における施設配置イメージ

市場調査手続き開始

木更津市　吾妻公園に民間活力導入

木更津市は11日、吾妻公園における民間活力導入に向けたサウンディング型市場調査の実施要領などを公表した。2028年度の供用開始を目指して吾妻公園の再整備を進めていくことに伴い、一部区画への民間活力導入による集客施設の整備について検討を行っている。市場調査において専門的な知見を有する民間事業者からの意見や提案を募り、集客施設の内容、文化芸術施設および公園を含めた管理運営方法、公募条件などを検討する。

調査対象者は、民間集客施設の設置・運営事業や、文化芸術施設および公園を含む管理運営などについて事業主体として関心と意欲を有する法人または法人のグループ。

意見・提案を求める内容は、想定する民間集客施設、事業手法・事業スキーム、事業期間、官民の役割分担や行政に求める支援など。

今後は、19日に質問を締め切り、26日に回答。27日～12月4日に参加申し込みを受け付け、12月11日までにサウンディングシートの提出を求め、16～26日にサウンディングを実施。25年3月に結果を公表する予定。

吾妻公園は、吾妻1―4に所在。敷地面積は4万1200㎡。

公園再整備の内容は▽文化芸術施設＝4階建て、延べ床面積約8300㎡、700席程度のホール・図書館・中央公民館の複合施設（指定避難所）▽大屋根広場＝面積約1350㎡▽屋外広場＝可能な限り広く確保▽交通公園＝約3000㎡▽駐車場＝約430台▽遊具エリア――など。

集客施設に関しては、公園利用者の利便性向上に寄与または、公園来訪の目的となるものとして、カフェ、レストラン、ドッグラン、スポーツコート、ランニングステーションを例示。建蔽率は公園面積の2％で、824㎡程度が上限となる。

吾妻公園および文化芸術施設はコンソーシアムを含む団体による一体的な管理運営、また集客施設についてはPark―PFIや設置管理許可を想定しており、市場調査を通じて最適な手法を検討する。

集客施設に関する事業スケジュールは▽25年度＝事業者公募準備▽26年度＝事業者公募・選定▽27年度＝設計・建設▽28年度以降＝運営・管理――の見込み。

県県土整備部

創造会の用途変更など

開発審査会が2件審議

県県土整備部は12日、第513回開発審査会を開催した。我孫子市布佐字北原地834―7の一部ほかにおける医療法人社団創造会（我孫子市布佐834―28）による創造会メディカルプラザ本館の一部の用途変更など2件が同意された。

医療法人社団創造会による用途変更の諮問者は我孫子市長。創造会メディカルプラザにおいて、本館の一部、延べ床面積3387・87㎡を介護医療院に用途変更する。建物全体の概要はRC造一部S造地下1階地上5階建て、建築面積5798・78㎡、延べ床面積17684・73㎡。病院部分は1万3456・86㎡で、そのうち514・56㎡は、介護医療院と病院の共用となる。

㈱オアシス・イラボレーション（高知県高知市針木東町26―54）は、四街道市栗山字浅間805―1の一部ほかで建築行為を行う。諮問者は印旛土木事務所長。申請地は主要地方道千葉臼井印西線、四街道市道02005号線沿いで、ジョイフル四街道店北東側の敷地面積122・89㎡。地目は山林、雑種地。敷地南側に軽量S造平屋建て、建築面積および床面積24・84㎡の防犯管理棟を建設する。

柏市

実施設計を再々公告

岩井水源地の発電設備

柏市は12日、「岩井水源地更新工事設計業務委託」の事後審査型一般競争入札を再々公告した。同業務については、8月6日に当初公告し、9月17日に再公告したが、いずれも参加者がおらず不調となった。再々公告に当たり、積算方法を見直し、予定価格を変更した。

21日から26日まで入札書の提出を受け付け、27日に開札する。委託期間は2026年3月18日まで。委託料は、当初予算に24～25年度を期間とする総額7899万円の継続費を設定した。

岩井水源地は、岩井802―4に所在。敷地面積は1万2807㎡。北千葉広域水道企業団から受水している。給水能力は1日当たり1万3300㎥。1978年4月に給水を開始した。

水源地の自家発電設備、新館および旧館の受変電設備、その他付帯設備の更新工事を2026年度に実施する予定。老朽化に対応するとともに、分散している設備を集約し、災害時の安定給水の維持を図る。